

## 2005年度 3 - 11月 展覧会開催報告

### 展 示 部 会

「早稲田大学図書館 新収資料展 - 最近の寄贈資料から - 」

2005年3月24日～4月20日 展示室

近年、早稲田大学図書館に寄贈された資料のうち、ウィリアム・モリス最晩年の傑作『チョーサー作品集』（大竹正次氏寄贈）、庵原謙（いはら・しずか）氏蒐集中国文様コレクションほか、おもだった貴重なものを一堂に集め展示した。会場には、詩人・吉田一穂の貴重な資料を寄贈された一穂の子息・



八峯氏（元館員）ご夫妻も見えられた。

庵原謙氏蒐集中国文様コレクションから（未整理）

「江戸・明治幻景 - 図書館蔵古写真展」

2005年6月25日～7月10日 本庄市 早稲田リサーチパークコミュニティセンター情報資料室

幕末から明治初年に撮影された黎明期の写真にのこる日本の古い風俗を展示。2003年1月に図書館



で実施したもののリメイク。6月25日（土）、平木収芸術学校客員教授によるオープニング講演「黎明期の写真術」が行われた。

金閣寺「ファーサリ写真帖」より HD-1955

「幕末・明治の広告メディア展 ～ 広告にみる当時の庶民性」

2005年6月25日～7月10日 磐田市立図書館

「早稲田フェスタ遠州」協賛企画。西垣文庫の引札、ポスター、看板などを出品。遠州稲門会などの共催。

「早稲田大学芸術功労者 丹羽文雄 追悼企画 丹羽文雄 人と文学」

2005年7月8日～18日 小野梓記念館ワセダギャラリー

2005年4月に100歳で長逝された稲門出身の作家・丹羽文雄氏を偲び、新築成った小野梓記念講堂にて「リレートーク」が7月8日に開催されるのに合わせ、稲門ライブラリーに生前丹羽氏から寄贈された資料を中心に丹羽氏の作家としての歩みを展示。長編『四季の旋律』原稿や、演劇博物館所蔵の丹羽氏原作映画のポスターなどが注目された。同時に、今年よりフリーペーパーとなった雑誌「早稲田文学」の歩みを小展示として飾り、今年急逝された平岡篤頼名誉教授の絶筆原稿も展示した。

「幕末・明治の異文化交流 日本人が見た外国人・外国人が見た日本人」

2005年10月18日～11月12日 展示室

ペリー来航がもたらした幕末の政治的緊張・混乱は、庶民のレベルにおいては、まだ見たことのない外国の文化や外国人そのものへのあくなき好奇心としてひろがり、開国と文明開化への素地をつくった。本展覧会はわが国における西洋文化受容の発端となった蘭学のはじまりから、外国人のようすを庶民に伝えた横浜浮世絵、ワーグマンやビゴーなど外国人の目にうつった日本のイメージ



などを示すヴィジュアル資料を時系列的に展示した。学生を中心に受験生、他機関の研究者など多くの観覧者があった。

（文責：松下 真也）

ペリー提督肖像「金海奇観」より 文庫8-A230